

根岸中のトリセツ

根岸中学校をよく知るための用語集

本校のさまざまな特色ある教育活動をシンプルな用語集にしましたので、ご一読ください

1 特色ある本校の取組

モデル校事業

「質の高い学び」と「持続可能な学校」の両立を目指して令和2年度に横浜市教育委員会が立ち上げたプロジェクト。本校は初年度から中学校としては市内唯一の参加校として、柔軟な教育課程の編成に取り組んできました。本年度からは根岸小学校でもこの事業への参加が始まり、小中ブロックで取り組んでいきます。

学校裁量の時間（MNT・LNT・ANT）

モデル校事業の目的を達成するため、授業一単位を45分とすることで生み出された時間を生徒や教職員に還元するために設定した10分または30分のモジュール。それぞれ朝昼・午後に設定して授業時数の確保をしたり、短学活・総合として運用したりしています。授業時数を確保しながら、必要なときに必要な活動時間を配置する方策としています。

自分づくり（キャリア）教育

生徒一人ひとりが生涯にわたって所属する様々な集団の中で自信をもって自己表現できるように、また、自己有用感を感じながら活動して将来自立していくために、中学生のうちから身につけさせたい力を「自立のための基礎力」と定義して、様々な体験的学習活動を通じて育てていく取組のこと。（巻末に資料あり）

はまっこ未来プロジェクトカンパニー

キャリア教育（自分づくり教育）を推進していくために、文部科学省の「小・中学生等における起業体験推進事業」を受けて、横浜市教育委員会が募集している起業家精神を育む事業のこと。本校ではスポーツ用品店と連携して、「エイサー T シャツ」の企画・制作・販売を手がけています（エイサー T シャツは、体育の時間・部活動でも着用できます）。

食育・学校給食

子どもたちの健やかな体を育成するには「食」が欠かせません。本校では成長期に必要な栄養素のバランスがとれ、安価で中学生の活動に必要なエネルギーを摂取することができる学校給食の推進を令和元年度から進めています。すべての生徒が満足できる中学校給食の実現に向けて、横浜市は令和8年度から給食の利用を原則としたいと考えているところですが、本校では中学校給食を利用しやすい環境づくりがすでに整っています。

子どもの社会的スキル横浜プログラム（通称YP）

子どもがコミュニケーション能力や人間関係を築く力を育むために横浜市が開発したプログラムのこと。一人ひとりの子どもの社会的スキルの育成状況を把握する「YP アセスメント」とスキルを高める「指導プログラム」から成り立っており、一人ひとりの個の力を育てると同時に、個が育つための集団を育てることに役立てています。

2 さまざまな支援活動

校内ハートフル事業

『だれもが』『安心して』『豊かに』生活できる学校」の実現に向けて、校長のリーダーシップの下、教職員による組織的な支援体制を構築し、専従の校内ハートフル支援員との連携を図ることにより、不登校傾向の生徒に対する「安心できる居場所」や「個別最適な学習機会」の確保を目指す取組のことです。

なごみルーム

校内ハートフル事業によって運営されている校内ハートフルルームを、本校では「なごみルーム」と呼んでいます。常駐の教員のほか、様々な教科・学年の先生たちがここを訪れて、利用している子どもたちの成長を見守っています。大人向けには通称「なごみ部屋」が存在しますが、これは校長室のこと。教員や保護者のほか来客や、ときには生徒も訪れて様々な相談をしています。

ねぎ丸きなこ

校長室に生息している本校のマスコットうさぎ（♂）。新鮮な葉っぱと生徒や保護者が集まる場所が大好き。日々愛嬌を振りまきながら芸の習得にも励んでおり、人々の心を癒やしてくれています。



放課後学び場事業

家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない小・中学生を対象に大学生や地域住民等の協力によって放課後等の学習支援活動を実施し、子どもたちの学習習慣の確立と基礎学力の向上を図ることで、子どもたちの自己肯定感や将来の夢を育むことを目的としています。本校では将来教職を目指す大学生が木・金曜日に実施しています。

国際教室

日本語指導が必要な生徒が一日も早く日本の学校生活に適応し、日本語で行われる授業を理解できるようになるために、生徒本人・保護者の同意の下、特定の時間に日本語指導を行っています。

対話を主体とした支援活動

生徒・保護者との相互理解を深め、情報共有を密に行うことでより高い信頼関係を築き、より良い支援につなげる目的で、本校では「面談活動の充実」を図っています。

個別面談：毎学期末・学年末にも実施。**面談資料**を用いながら、これまでの成果や今後の課題について情報共有します。**3年生は進路**に関する内容も含みます。

教科相談：各学期の最終日に希望者を対象に、教科担当と直接相談ができます。

教育相談：各学期の始まりに、学級担任を中心に生徒が安心して学校生活を送れるように相談・支援をしています。

学習相談：定期テストの前日に原則として全学年・全教科で行う学習・質問タイム。

学校生活アンケート：いじめの未然防止・早期発見を目的に、横浜市立学校で一斉に行うアンケートで、本年度から記名制になりました。

スクールカウンセラー：「自分の気持ちを誰かに話したい」「困ってることがあるけれどどうしたらいいか分からない」。そんな時にじっくりと話を聴いて、気持ちを整理するお手伝いをしたり、どうすればいいかを一緒に考えたりしています。

3 その他のキーワード集

ワンチーム

本校で年間通して最もよく使われる英語表現。生徒の間でも教職員の間でも一人ひとりの個性や能力を活かしながら、目標達成に向けて頑張るときや頑張ったときに耳にします。この言葉に込められた精神が全ての教育活動の基礎を作ると言っても過言ではありません。本年度は保護者を含めての「ワンチーム」づくりを進めます。公開行事での来校時やPTA 活動等において、同じチームの一員としてより良い学校づくりにご協力ください。

折れない しなやかな心

本校が教育課程全体で育成を目指す資質・能力の一つ。この言葉は、どんなに頑丈そうな大樹でも強風の中で折れたり倒れたりすることがありますが、竹のようなしなやかさがあれば、強風のときでも逆風にさらされても、大地にしっかりと根を張って柔軟に対処することができる場所からきています。類義語に「たおやかに生きる」がある。

おみそしるーみんなでつくろう 心も体もほっとな学校ー

本年度生徒会の活動スローガン。本部役員6名の思いと好きなお味噌汁の具を紹介します。

- ・生徒一人ひとりが意見を出し合える、温かい雰囲気のある学校を目指す（会長、なめこ）
- ・お互いを気遣い温かい雰囲気のある学校にすることで、誰にとっても居心地を良くしたい（3年副会長、お麩）
- ・根岸中生で一丸となって、より過ごしやすい学校をともに作る（2年副会長、大根）
- ・皆さんが居心地良く、より過ごしやすい学校を作っていきたい（3年書記長、わかめ）
- ・皆さんが過ごしやすい学校づくりを目指したい（2年書記長、豆腐）
- ・誰にとっても温かく、居心地の良い学校を目指す（会計長、人参）

ときには学年の枠を越えて自主的な活動を企画運営できるのが生徒会本部です。頑張れ！

欠席連絡

新型コロナ感染症の位置づけが5月8日から「5類感染症」となりました。とはいえ、これまでの3年間にわたる日々の検温や健康観察が不要になったわけではありません。急な発熱等による欠席の連絡や通院等での遅刻連絡は、今までどおり電話でしてください。なお、無連絡で登校していない生徒がいると、ご自宅・携帯・職場など確認が取れるまでお電話させていただくことになりますので、それを避けるためにも家庭からの連絡を重ねてお願いします（連絡は打合せ時間8：15～8：25を避けていただければ結構です）。

4 学校公開・地域行事等の日程

1 学期		2 学期		3 学期	
4月26日	授業公開・懇談会	9月27日	授業公開・懇談会	入試日程が決まり次第 お知らせします。	
5月24日	教育活動説明会・PTA総会	10月1日	健民祭		
6月1日	体育祭	10月11日	合唱コンクール		
6月20日	進路説明会	10月15日	地域防災訓練		
7月11日～	個別面談	10月25日～	進路相談	3月14日～	1・2年個別面談
		11月（日付未定）	進路説明会		
		12月4日～	3年個別面談		
		12月14日～	1・2年個別面談		